

会議名	第18回 加古川市石綿関連疾患リスク推定部会	
日時	令和5年5月26日(金) 14時10分~14時20分 加古川市役所 191 会議室(新館9階)	
出席者	部 会 員：村山部会長、名取委員、亀元委員、富田委員、大田黒委員  建 設 部                    糺谷建築担当部長、溝渕次長 事 務 局：営繕課 上内課長、高木副課長、森岡担当副課長、乾係長、森田主査	
会議次第	1. 開 会  2. 部会員出席状況報告  3. 配布資料確認  4. 議 題 議題1 大気拡散実験の仕様について  5. そ の 他  6. 閉 会	備考
配布資料	資料1 令和5年度 大気拡散実験仕様書(案)(第2版)	

## 第18回 リスク推定部会 議事録（全文）

### 1. 開 会

### 2. 部会員出席状況報告

### 3. 配布資料確認

事務局 本日の部会を始めさせていただきたいと思います。部会長、議事進行につきまして、どうぞよろしくお願いいたします。

部会長 よろしくお願いたします。それでは次第に従って進めさせていただきます。

### 4. 議題

#### 議題1 大気拡散実験の仕様について

事務局 大気拡散実験の仕様について、委員のみなさまに事前にご協議いただきました。そのうち、全体に関することと主に外部の実験に関し確認させていただきます。資料1「令和5年度大気拡散実験仕様書（案）（第2版）」ということで、前回第17回リスク推定部会の際にご説明させていただきました実験（案）から、さらに実験仕様について検討を行った点について、今回まとめております。実験は「Ⅱ 主に内部における大気拡散実験」「Ⅲ 主に外部における大気拡散実験」の2種類を予定しています。「Ⅰ 共通事項」として、実験実施日は別府中学校の夏休み期間である令和5年7月下旬から8月末のうち数日としています。2020年8月に実施された工事期間と比較的近い気象条件、特に風向が近い期間を予め選定し、実験実施日直前に再度気象条件を確認した上で、実験を行う予定です。主に内部における大気拡散実験と主に外部における大気拡散実験、それぞれ2日ずつ実験を行う予定としておりますが、期間内に適した気象条件の日が十分確保できない場合は、実験日数を減らして対応することも考えられます。実験で使用するトレーサーガスの濃度や放出量を定めるための準備実験も期間内に行う予定です。

富田委員 「Ⅱ 主に内部における大気拡散実験」について、ガスの放出場所は2020年に実際に工事が行われた3階屋内で発生させます。飛散事案当時と同じように外部に足場を建てて防音シートを設置しますが、現在は配膳室が完成しているので、配膳室の2階屋上から校舎屋上までという形になります。校舎内部も飛散事案当時と同じように仮設間仕切りの壁を設置します。仮設間仕切り壁は、工事

が行われていた 1 階から 4 階のすべての仮設間仕切りの隙間の様子を 3 階の 1ヶ所で再現します。その様子は資料「添付 1」「3 階天井伏図」のところから、天井ボードは仮設の壁が干渉しない程度にすべて取り外します。ボードの隙間も飛散当時の状況を反映できるように、同じような隙間を作っていきます。資料「添付 1」資料右上の方で、仮設間仕切の短い壁の方も当時を再現できるように校舎の壁とボードの間を、当時隙間があいていた箇所を再現する予定です。養生テープが張られていた場所も同じように再現します。2 階と 4 階の廊下には空調の配管が天井の下を通っていますが、仮設の壁も当時配管が通っています。その隙間部分は、養生テープでふさがれていましたが、ふさがれていない部分も確認できていますので、直径 20mm 程度の穴を開けて、同様の隙間を確保します。測定点に関して、ガスの放出は 5 分程度行い、各点での測定は 30 分間、8 回連続測定します。屋内の測定は 19 地点で、当時使用されていた 1 階から 4 階までの教室を、3 階のフロアにすべて持ってきて測定します。上下階への拡散の様子を確認するために階段室のところも測定します。外部に関しては、足場の上、配膳室 2・3 階の上、地上のモニタリング地点、グラウンドの風上を考えています。資料「添付 2」をご覧ください、水色線で囲った教室は当時使われていた部屋です。オレンジ点が測定点です。資料「添付 3」が外部の測定点です。

実験時の窓の開閉については、3 階からガス放出する場所の窓は外して、配膳室の入口はビニール養生します。3 階扉のスペースは、仮設間仕切りの中の窓は外します。配膳室の出入口はビニールシートで養生します。廊下の窓は、仮設間仕切内の取り外した窓以外はすべて閉めます。教室の中については中庭側の窓は全て開放します。そして換気扇と空調は稼働させます。管理棟から中庭側へ出る扉は、当時の様子が確認できないので、すべて閉めます。仮設間仕切り壁の出入口は、10 分に 1 回 30 秒開けることにします。教室の出入口と管理棟の玄関扉は、当時の様子を考慮して、15 分に 1 回 30 秒開放するようにします。以上です。

事務局

続いて、主に外部における大気拡散実験について、委員のみなさまに事前にご協議いただいた内容を確認させていただきます。まず、ガスの放出場所は 2020 年に工事が実施された 3 階で、西側にずらした位置としています。校舎の壁に沿うように 1 階から 4 階まで、外部足場・防音シートを設置する予定としております。ガスの放出位置の違いや、防音シートの有無によるガスの到達濃度の違いを調査するため、2 階からガスを放出する場合や、防音シートをはらない状態での実験を検討しましたが、実験日数が限られるため、すべての場合が調査できるかは実験実施時までわかりません。その優先順位については「資料 1」2 ページ目中段「→優先順位は以下のとおり」欄の表の通りです。測定について、実験時間中ガスを放出し続けます。1 回の測定時間は 10 分間とし、測定回数は、実験の場合分けの可否により変わるため今後検討予定です。測定装置は、内部実験と

同様に 8 連続測定ができる装置を使用予定です。測定点は、30 地点の予定です。測定点を放射状かつ均等に配置したものが「添付 4」で、詳細の配置や決まった場所での測定機器の設置協議については今後行う予定としております。50m より遠い地点についても、シミュレーションとの数値整合確認のために、測定点を配置することを考えております。飛散事案当時の捕集地点は本来、「添付 5」の位置になりますが、現在は配膳室が増築されており、増築建物自体が風の流れに与える影響が不明であるため、西側にずらした「添付 4」の位置からの放出を検討しております。足場内の 26 から 28 と記載の地点、そしてガスを放出する階の廊下部分として 29 番目の地点、そして風上にあたる、バックグラウンド地点として 30 番の地点の計 30 地点の測定を検討しております。最後に参考として、前回第 17 回部会時に公開しております大気拡散実験仕様書（案）の方も添付させていただきます。実験仕様書の説明については以上です。

部会長 この内容について、ご質問等ありますでしょうか。

—ご意見なし—

主に内部と主に外部の実験について個別に検討を行っていただき、この度、資料 1 として整理していただいたと思います。

それでは、現時点での仕様案についてご了承いただいたということにさせていただきます。

## 5. その他

(今後のリスク推定部会開催日程は後日調整することを確認し閉会)